

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

いろいろな大学について調べた時に、同じ日に同志社女子大学の学校説明会に参加しました。手厚くサポートしてくれることや、私が学びたいと思っていることが学べ、身も心も成長できる環境も魅力的だと、同志社女子大学の魅力が伝わりました。志望するようになりました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

## 〔1学期〕

私はまだ1学期月の時点では志望校が明確に定まっていなかったためではありません。この時点ではですが、これから学校の授業や部活の勉強をやりこめたい。高1や2年生の時に使っていた英単語の単語帳をまだはじめてから覚え直したりするくらいで、あまり特別なことはしていません。

## 〔夏休み〕

夏休みは受験科目、私の場合は英単語、国語、日本史Bの3科目すべてを基礎から復習したり、分かっているつもりで分かっていけなかったところを学び直す時間になりました。夏休み後半に差しかかったし、過去問を解き始めました。英単語の問題集ではどの程度の単語力が求められるのか、などを覚えることで学習量が増えるので、過去問に繰り返し取り組むのは早ければ早い方がよいと思います。

## 〔2学期～入試直前〕

2学期月に入ると学校でも復習や入試問題集への繰り返し取り組みが本格化していきなりました。1つ1つの問題を解くことで、自分の強みと弱みも分かってきました。分かった日や必要に応じて、2度と同じ問題は解いてみることもないようにはしていません。直前月にはとにかく復習と過去問演習をひたすら繰り返しました。英単語帳は何度も繰り返し復習して、糸田の単語帳なども頭に入れておくようにしてました。過去問は同志社女子大学の言或題集問題集の化驗向を参考に、対策ができるため、平均点の過去問を解きました。解けた後にも分からない単語や問題集は徹底的に調べ、インプットできるようにしてました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

高校1年生としての最後の1年でもあるので、行事は空かちやっています。1年間の勉強があとに残ると感じ、帰宅後すぐに寝てしまったりもすることがありますが、やはり毎日クラスメイトを思い出し、私も元気でいるかと思っています。テレビは元々シャットアウトしたいので大丈夫でしたがスマートフォンは多量に使うので、SNSなどのアプリを1日1回に制限したり、毎日制限時間を設定したりしました。集中して勉強したいので毎日時間を決めて、スマートフォンを見ないなどにはしていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験勉強は肉体的にも精神的にも辛いと感じることがあると思います。もっと不安や緊張を乗り越えていけるようになることもあると思います。自分が周りのみんなと同じで、自分だけじゃないと思うことで元気をもらえます。絶対にその元気を振り絞って頑張っている人がいます。目標を達成できたらよかったです。